

北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会 会議録

日 時	令和7年5月19日(月) 18時30分 ~ 19時40分
会 場	市役所1階 多目的室1
出席委員	伊東和徳委員、伊藤順之委員、川村香織委員、竹内巧委員、成田いちご委員、西崎毅委員、日角知世委員、前田優委員、牧野一樹委員
欠席委員	なし
市出席者	【教育委員会】吉田教育長、鹿野教育部理事、川又学校教育課長 (庶務) 竹内教育総務課長、伊達参事、大友主査、宮越主任 【オブザーバー】下野企画課長
傍聴者	なし

1 開会

委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを確認し、開会。

2 会議録署名委員の指名について

会議録の署名委員として、牧野委員を指名。

3 審議

前回会議開催後、各委員より出された基本構想(原案)に対する意見の内容について、事務局見解を説明。事務局見解の説明後、再度委員の見解を伺い、基本構想に明記するか委員会の中で決定する旨を説明。

【A委員】

義務教育学校を作る際には、既存の西部中学校は当てにせず、可能な限り充実した学校作ってほしい。

【教育部長】

考え方として、施設一体型の義務教育学校なので、可能な限り西部小学校(増築含む)の中に収まるような形で進めていきたい。

【B委員】

CS交流室について、地域住民の導線として、地域の人が児童生徒の教育に関わりが持つことができるような学校の整備の配慮があればありがたい。

【C委員】

学校の立場から言うと、誰でも入ることができる環境であることは安全管理上問題があると思われる。西部小学校の状況から言うと、現在の図書館の形態が玄関も別となっており、司書も配置されているため、良い環境であると思われる。整備する上で、児童生徒と地域の人それぞれで玄関は別にするなど、校舎を仕切るような作りでないと、本当にCSの方なのか全く別の方なのかの判別することが難しいため、十分な配慮が必要だと思われる。

【A委員】

CSのメンバーが小学校に行く際に、現在の小学校では専用の部屋がないため、義務教育学校ができる際には、CSのメンバーが集まれる専用の部屋があれば便利だと思われる。

【教育部長】

義務教育学校は小中学校の児童生徒の交流を活性化させる場所であると考えている。また、保護者や地域の方々も交流することができるいい機会だと考えている。一方で委員の仰るとおり、セキュリティの問題や機能性のある問題があるため、基本設計の中で、効率的・効果的な配置方法について検討していきたい。

北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会 会議録

【D委員】

現在、国の方で中学校を35人学級にする動きがあるとの話だったが、小学校の方もそのようになっていくのか。

【教育部理事】

小学校では既に35人学級制度を段階的に進めている。また、北海道独自で中学1年生のみ35人学級制度を実施している状況である。今後段階的には広がっていくと思われるが、現時点では決定事項ではないため、基本構想を作る段階では40人学級をベースとした考え方になると思われる。

【E委員】

教室の数について、予備教室は2学年に1つという考え方になるのか。現在、西部小学校は1学年につき予備教室が1つという状況であるが、習熟度教室や個別学習等で日常的に使用しているため、2学年に1つとなると、重なった際に利用できない場合があると考えられる。今後児童に合わせた柔軟な教育を進めていくうえで予備教室が少ないと思われる。

【教育総務課参事】

今の建物のレイアウトについて、今後の設計の中で教室の広さの観点でも検討していきたい。また、基本設計の中で現場の意見として、教職員の方々からもご意見を伺いたいと考えている。

【E委員】

自分の経験談になるが中学校の体育と家庭科の授業を受け持っていた時期があり、その際の準備が非常に大変だった記憶がある。教職員が複数の授業を持った際に、限られた時間のなかでいかに効率よく準備するかと教室等の配置が重要であると思われるので教室のレイアウト等については先生方の意見も聞いてもらうようにしていただきたい。

【教育部理事】

増築するスペースに限りがあるので、各教科の授業時数による特別教室の活用状況を鑑みなければならない。そのためには、内装や部屋の配置の工夫をしていく必要があると思われる。

【教育部長】

部屋数だけでなく教室のレイアウトや準備室の部屋配置等、効率の良い配置になるよう基本設計の中で検討していく。

【F委員】

内装を工夫することで使い勝手の良い学習環境が整うのではないかとと思われる。時間割だけでなく、そういった面も検討いただければありがたい。

【E委員】

一番長く利用するのは児童生徒なので、児童生徒の学習時間及び安全面の確保に配慮した整備をしていただく必要はあると思われる。

【教育部長】

委員が仰るように児童生徒が過ごしやすく、生活しやすい環境であることが大事なので、基本構想の表現方法について検討する。

【D委員】

体育館は既存の小学校の体育館のみを活用するのか。

【教育部長】

イメージでは既存の小学校の体育館で小中学生の授業を行うことを想定している。部活動については小学校の体育館のほか、大曲地区でやっているような地区体育館を活用する方法も考えられる。

4 次回の委員会日程について

次回の委員会開催について、事務局より令和7年6月5日（木）に開催。事務局より別途日程調整を行う旨を説明。

北広島市西部地区義務教育学校設置基本構想策定検討委員会
会議録

5 閉会

令和 7年 5月 19日

会議録署名委員 牧野 一樹